致や県内外調査を実施し、

し、有識者や12の調査に加え、4

一校生、移 参考人招

県当局からの聴き取り

行ってきました。住の促進」の3点を重点調査項目として調査を住の促進」の3点を重点調査項目として調査を

社会減対策を中心に「持続可能なしごとの創出」

△□流出が続いている地方特有の課題である

とりまとめ、9月には、

それまでの委員会における議論

を

が寄せられ、

もに、関係者との意見交換を行いました。住支援NPO等の取り組み状況を調査するとと業者、地域人材育成事業に参画する高校生、移

築等を要望しました。 起業を促すための支援モデル構

員長報告において、

題の解決に資する

県当局に対

ええとこやんか三重 移住相談センターでの調査

詳しくは、

最終の委

委員間討議等を重ね、

三重県議会

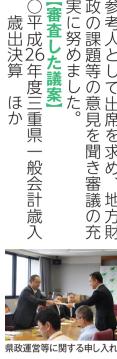
予算決算常任委員会

査しています。予算、決算な 決算など県財政全般について、 審査

|委員会および各分科会開催回数6回|

に、新年度当初予算については、予算編成活すべき方向性について知事へ申し入れる場別政の現状や前年度の県政運営を調査などの詳細審査・調査を行っています。分科会を設け、年間を通じて予算議案、決定 議長を除く議員全員が所属 議会の意見が反映は、予算編成が始まへ申し入れるととも 議案、決算議案部局別に6つの

参考人として出席を求め、地方財 であるです。 常任委員会化して初めて有識者に性化や執行機関への政策提言の取り組み状況など京都府・石川県議会を訪問し、予算決算審査の活 されるよう取り組んでいます。る以前の段階から調査を行い、 また、 南部地域活性化基金見直しの調査のほ



県政運営等に関する申し入れ

意見交換 鳥獣害に強い

調

反映させるため、 |映させるため、「みえ現場 cr 県議会」を開催してい県議会では、多様な県民の意見を県議会での議論に 〜みえ現場 地域づくりについ de 県議会~

13 人で集 で #10

三重

|県手話|

関する条例

検討 言語

会に

成

話の普及のための施策の推

成する検討会を設 月から全ての会派

調推 査進けの 議

び関手員

さと会館で「鳥獣害に強い地域づくり」をテーマに開 催しました。 平成2年度の2回目は、2月5日に松阪市嬉野ふる

検討を行って

います。

条例の

制定に向けた調

これまで、

当日は、 鳥獣害対策等に関わる方6人と 一般公募の

保護

者、手話通訳者の団

体

事者や団体の方、

の方、聴覚障がいをは聴覚障がいをは

い 持 児

の方、い児の当

講

師し

意見を聴くなど様々な方面 手話言語を研究する大学教!

査しました。さらに現地調

で手話をしまる。

三取りは大学の

先行して条例を制定し

万4人から、県議会議員14人が

学校給食への提供」「県内各地 策の現状と課題などについての 後の植林支援」「ジビエ料理の カを追い回す犬の養成」「皆伐 意見とともに、「みえ森と緑の どの被害の深刻さや、鳥獣害対 県民税の獣害対策への活用」「シ 直接ご意見をお聴きしました。 への解体処理施設の設置」 参加者からは、森林や農地な



行いました。

育の視察調査を 話を活用した教

案提出に

て、議員間討議 発提出 に 向 け 引き続き条例

施策の実施状況等や、群馬県と神奈川県、見

鳥取県

校で

事業などに(知)の拠点と

人口減少対策について調査しました。

減少対策調査特別委員会

組みの 取 ŋ の提案をいただきました。

子どもたちへ議会のしくみを説 〜みえ県議会出前講座〜

など、8校で授業を行いました。議員の説明の後、 どのように決めるのか」「選挙 会の役割や仕組みなどについての授業を行っています。 的に、県議会議員が小中学校や高校などに出向き、県議 童や生徒からは、「なぜ議員になったのか」 [議員定数は 将来の住民自治を担う意識の醸成に寄与することを目 平成2年度は、いなべ市立中里小学校や県立聾学校 県議会では、 県議会をより身近に感じていただき、 児



中里小学校の様子 2月9日

た。 提言を行いまし 保等についての の検討、機動的 や実感の伴う 目標の設定方法 「新しい豊かさ」 申し入れでは、



■場

所

■募集対象及び学校数

最終案等知事への申 第二次行動計画」(仮 みえ県民力ビジョン し入

政改革取組」(仮称)中間案につい称)最終案及び「第二次三重県行財ビジョン・第二次行動計画」(仮部門別常任委員会が、「みえ県民力部門別常任委員会が、「みえ県民力1月27日に、正副議長と各行政 て知事に申し入れを行いま. た。

三重県議会議事堂 議場

■応募方法 学校単位でご応募ください。

■募集期間 平成28年3月7日(月)~4月28日(木)(必着)

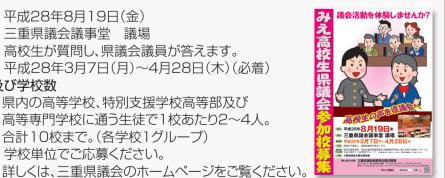
合計10校まで。(各学校1グループ)

県内の高等学校、特別支援学校高等部及び

高等専門学校に通う生徒で1校あたり2~4人。



高校生が質問し、県議会議員が答えます。



を中心に慎重・

先行事例調査(鳥取県)

ねて

いきます。

来などについて 物想の戦略や地 が組みとして、 地方創生推進 として、 地方創生の機能強

出きしました。 第3回目となる1月18日は、一 第3回目となる1月18日は、一 勉強会を開催しています。 別議会では議員の資質向上を図 砂役割」というでは、 地 方創

と題 生と三重

1 お三

三重 た議

県 27 議 年 度 員 3 勉回 強 を 員 図

次回の発行は、平成28年(2016年)5月1日(日)です。